

シャープ社友会 栃木支部会報

第43号

nikko

2019. 1. 1 発行
発行責任者 荒田英治

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



新春に色を添える蠟梅・宇都宮市羽黒山
撮影：大屋信幸（会員番号5522）

平成三十一年を迎えて

シャープ社友会 栃木支部

支部長 荒田 英治

あけまして

おめでとーございませう



社友会会員の皆様には穏やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日頃は社友会活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

新年を迎え、昨年のシャープ社友会栃木支部の活動を振り返ってみますと、創設三十周年を迎えた節目の年でもあり七月には会報「nikko」の三十周年記念号を発刊することができ、この様な記念すべきタイミングに栃木支部の役員として立ち会えた事は大変光栄なことだと喜んでおりました。

ところが、その喜びも冷めやらぬ八月三日、国内液晶テレビ生産の主力工場で、テレビの設計開発や生産のマザー工場と位置付けられていた矢板事業所におけるテレビ生産を十二月末までに終了し、矢板事業所のTVシステム事業関連従業員をグローバルTVシステムの事業本部の本拠地である堺や、スマートTVシステム事業本部の本拠地である幕張に集約するといふ驚くべきニュースが飛び込んで参りました。

矢板事業所は、引き続き物流やサービス拠点として活用されるとの情報でしたが、社友会栃木支部の活動

拠点でもある矢板事業所内にある社友会室・コミュニティホールなどは継続して使用できるのか？会員宛二ヶ月毎に送付している各種資料などの郵送費は今まで通り会社負担で対応頂けるのか？グラウンドゴルフ同好会などが使用させて頂いているグラウンドの継続使用は可能か？など、想定される問題点が一気に表面化し会社側との調整を余儀なくされる事となりまして。

幸いこれら施設の継続使用について、現時点では今まで通り使用してよいと会社側より回答を得ておりますものの、矢板市からは一部跡地の有効活用についての要望も言及されており、社屋の一部やグラウンドを永続的に使用できる保障はないと考えなければならず、今後、どの様に対処するか社友会栃木支部として検討を続ける必要があると思慮するところです。

この様な状況になった事から、昨年度の定期総会時に提案いたしました栃木支部創設三十周年の記念植樹については残念ながら実現することは困難と判断し断念いたしました。また、シャープ・グリーン・クラブの活動に社友会栃木支部としても賛同し現役の皆さんと共に育んできた「シャープの森 in やいた」の整備活動は地権者との契約も終了するとの事であり消滅してしまう事も大変悲しい限りです。

昨年の夏以降、社友会栃木支部にとっては重苦しく感じる様な環境の変化もあつた中ではありますが、会員相互の結束を更に強めようと企画された秋の懇親日帰りバス旅行は十月十五日、会員及び家族を含む三十四名が参加して福島県方面へ出掛け、リンゴ狩りや五色沼周辺の散策を楽しむ事ができました。

年末も押し迫った十一月末に会社総務部より、思い出深い矢板工場を社友会OB・OGの皆様へ最後に見て頂く機会を設けたいが如何でしょうか？とのご提案を頂きました。

会社側のご厚意による見学会のご提案から実施日迄の期間が短かった事もあり、社友会会員への告知はメール連絡の付く会員、社友会栃木支部HPを閲覧できる環境のある会員と友人などへの口伝えに限られてしまいました。社友会役員関係では七十名、元社員二十名の参加申し込みがあり十二月六日(木)と七日(金)の二日間、各々午後二時頃から約一時間程度、テレビ工場・技術センター棟を見学させて頂きました。この見学会情報を知り得ず当日参加できなかった会員の皆様には誠に申し訳なく、この場を借りてお詫び申し上げます。

さて、昨年の出来事を振り返ってまいりましたが、今年と云えば来る四月三十日に今上天皇が退位されて「平成」の時代が終わり、五月一日には新元号となる予定です。また、消費税率10%への引き上げが十月一日より施行されるなど、我々にとって何かと大きな変化を感じる年になりそうですが、何はともあれ健康第一で過ごして参りたいものだと思います。

本年は社友会支部役員や地域幹事が改選される年にあたります。実質的には五月以降、新体制での活動となりますが、会員皆様のご協力を得て社友会活動がより一層意義のあるものとなりますよう新年度以降も努めて参る所存ですので引き続きのご支援ご協力をお願い申しあげ新年のご挨拶とさせていただきます。



喜寿を迎えて

会員番号 二〇四二 前野 雄二



この度は、喜寿のお祝いを頂きまして有難うございました。現状年相応の生活習慣病はありますが、まあ健康に日々を過ごしております。近況として、そろそろ車生活に区切りをつけ、公共交通、自転車、徒歩の生活をするため、出来るだけ車を使わない様心掛けています。自然と自転車を使う機会が増え、自転車で走行してみると、専用走行出来る道路が割と少なく、安全に取り扱うには問題が多いと感じます。

歩道を人と混在しながら走るか、車道の左側を車との混在で走るのととなり、狭い車道で車との混在はすぐ横を車が追い越していくため恐怖を感じます。その為かほとんどの自転車は歩道を走っており、人との事故が減らないためか、最近「自転車は車道へ」との方向で車道に自転車レーンをペイントした道路が増えてきています。自動車を使わないと、その代わりの交通手段も結構大変です。

何時までも車を運転することもできないので、徐々に車なし環境に慣れ、安全に生活できるような心掛けて老後を暮らしていきたいと考えています。



会員番号 一九九一 増田 武司



昨年七月末に喜寿を無事に迎えることができました。そして社友会からも喜寿のお祝いをいただきました。ありがとうございました。

長寿お祝いには「赤色や紫色の頭巾とちゃんちゃんこを着て同色の座布団に座る」という風習があります。そこでの様な長寿がどの様な色を着用するかを調べたところ、古希は紫色、喜寿も紫色、米寿(八十八才)になると金色又は黄色となり、卒寿(九十才)でも紫色で、白寿(九十九才)になると文字通り白色を着用し、百寿(百才)でも白色か金色のものを着用するそうです。これらの風習がいつごろ始まったのか知りませんが、かなり以前から百才以上の長高齢者がおられたことが想定されます。今や日本は高齢化社会になり、二〇一八年の調査では男性の平均寿命は八十一・〇九才で世界第三位、女性では八十七・二六才で世界第二位の長寿命国になっています。

一方、介護を受けたり、寝たきりになったりせず、日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」は二〇一六年の調査で男性は七二・一四才、女性が七四・七九才だったと公表され、前回(二〇一三年)の調査より男性は〇・九五才、女性は〇・五八才伸びています。また、六十五才以上の高齢者が総人口に占める割合を「高齢化率」といいますが日本は二十八・一%と世界でダントツのことです。ちなみに男性高齢化率は二十五・一%、女性高齢化率はなんと三十一%とのことです。

そんな情勢下にあつての七十七才、これからも健康で米寿を迎えることを視野に入れながら、取りあえずは傘寿(八十才)に向け、適度の酒とほどほどの食事をとり、今迄通り元気に行動し、笑い合い、そして感謝で

きる毎日を過ごしたいと思っています。

会員番号 二〇二六 只友 将弘



喜寿を迎えお祝いを頂き有難うございました。同時に結婚の佳節を迎える事ができました。日頃は趣味の写真撮影を楽しんで彼方此方に撮影に出掛けています。また昨年四月には三十年近く務めた矢板フォトクラブの会長を勇退し、後進に会の発展を委ねる事となりました。これも、ひとえに皆様のご指導とご支援の賜物と心より御礼を申し上げます。この度、これらの人生の節目を記念して「メモリアル写真個展」を開催する運びとなりました。紙面をお借りして個展内容を記載させて頂きますので、万障繰り合わせてご高覧頂きますようよろしくお願い致します。

【メモリアル写真個展】

◆開催日時：三月二十九日 午後〇時～午後五時
三月三十日 午前九時～午後五時
三月三十一日 午前九時～午後四時

◆開催場所：

那須野が原
ハーモニーホール
二階ギャラリー
(大田原市本町
一丁目二七〇三二六)



新作品『秋景』鹿沼市にて

◆連絡先：(携帯) 090-32487309

古希を迎えて

会員番号 四六五一 前川 健治



はやか！私も古希になりました。既に還暦を迎え第二の人生をスタートさせて頑張っている私ですが、古希を迎えてしまいました。古希を迎えたという事は少し長生きできただけで、喜ばないといけませんね。と言う事で、改めて古希ってなんなのと考えてみました。

あれ、漢字が違う。古希は「古稀」って書いていたように思いましたが、稀が希に変わった、なんでやろう。古希について調べてみよう。古希とは元々「古稀」と書いていましたよね。中国の唐時代の詩人・杜甫の「人生七十古來稀」と言う詩の一節によるものとされていると聞いています。人生七十古來稀とは人生七十歳まで生きる事は稀(まれ)な事であると言う事だそうです。昔は人生五十年と考えられていて、還暦にあたる六十歳を迎えられることが長寿のあかしだったと聞いています。更に七十歳を迎えられるのは、非常に稀(まれ)だと言う意味から古稀がお祝いされたそうです。

では、古希の「希」が稀から希に変わった理由はなんなのですかね。昔は七十歳を迎えるのは非常に稀でした。然しながら、今では平均寿命が伸びて七十歳まで生きる事は稀で無くなったことや「稀」が常用漢字で無い事などの理由で、「希」に変わったようです。と言う事で、七十歳の古希を迎えた私は(稀)でなく普通で、長生きの証では無いとの事のようにです。もともと、もともと長生きをしないと長寿としてのお祝いをして頂けない

ようです。

皆さん、古希になってもまだまだこれからだそうですね。昨今の古希は長生きの証のお祝いではなく単なる行事ですかね。取敢えず、紫のちゃんちゃんこを着るイベントのようです。私的には古希の「希」の字はこれからの人生にもっと希望もって長生きをせよと言う「希」に思われてきました。

従いまして、引き続き長生きを目指すためにも、還暦から続けている年一度の欧州遠征、四季を通じた畑仕事山登り、そして下手なゴルフに精を出してもつと長生きをしたと改めて思いました。次の長寿イベント喜寿に向けて頑張ります。

会員番号 四六〇四 中島 隆志



昨年四月に古希を迎え、社友会からはお祝いを頂きありがとございました。シャープ退職後も、単身赴任で別の職場で、仕事をさせてもらう機会に恵まれ、九月末に修了させていただき帰ってきました。

この間、ゴルフを始める機会に恵まれ、休みで帰ってきた時には、シャープの現役の方から、何度も誘って頂きプレイしました。そのメンバーの方たちが、堺へと転勤され、最近では時々連絡を取り合う程度になりました。また、ゴルフを通して、新たな友達もできました。

これからは、健康維持のためにも、下手なゴルフですが、続けていき、社交会活動にも積極的に参加させていただきたいと考えています。また、しばらく出来ないかった妻との旅行・食事等を楽しみ、四人の孫たちの成長を見守りたいと考えています。

会員番号 四一八一 貝塚 恒夫



古希と聞いても、全くピンとこない状況です。高校の時憧れだった詩人島崎藤村。会社人間になつてから五十五歳までは全く詩には目もくれず、新潟の詩人との出会いから、詩の虫が湧いてきて、

現在は栃木現代詩人会の副会長、県北初の詩誌「那須の緒」の代表として。その他五団体の詩やエッセイの団体に所属、原稿の締め切りに追われる日々を送っています。会社に在職中から、里山のことを気に掛かっておりました。里山は美味しい空気が水を、更には風水害を防止し生物多様性を維持してきました。それが今は、行政にも若者にも見捨てられ、過疎と獣害に喘いでいます。これを何とかしたいという一心から、三年掛りで六年前前大田原市に県内初の鳥獣被害対策実施隊を立ち上げました。理想は里山に若者を呼んで地域を活性化させ、鳥獣と共生できる環境を目指しています。鳥獣管理士や狩猟免許、更にはグリーン・ツーリズムのコーディネート/アドバイザー等取得。農水省野生鳥獣被害対策アドバイザーなど、地域や他県での啓蒙活動に取り組んでいます。五十年後、里山資本主義、物々交換経済社会を夢見て、道半ばですが年を忘れ活動に励んでいます。

会員番号 四三三二 佐藤 壽行



この度は、古希のお祝いを頂きありがとうございます。あつという間にまた順調に時は経過し、何か記憶に残る事を行えたかと言えはそう言う事もなく迎えた古希でした。

ピロリ菌と思われる慢性胃炎ががん化し二〇〇四年胃の三分の二を切除しました。以来食事がままならず、今も一日五回の食事を続けております。それが足かせとなり、食間に何か事を行う小間切れ行動が続いております。

そんな中ですが、社内で職場野球が盛んだった頃にスコアを記載したことが縁で、ここ数年ソフトボールのスコアラーをしています。試合後のデータ整理に時間が掛り、電子化が出来ればと考えています。

入社以来始業前に実施していたラジオ体操を、朝のラジオ放送に合せ毎日行っております。矢板市で前回（約十年前）行われた「公開ラジオ体操」に参加後出勤しました。次回も開催されれば参加を予定しています。

もう一つ在宅ならばラジオ番組「ひるのいこい」を聴いています。「心が癒される」との勧めを受け聴くようになりました。テーマ曲は、作曲家の古関裕而が出身地福島盆地の田園風景を表現したものと後で知りました。「ひるのいこい」で流れた曲をカラオケ同好会定例会で歌えれば素晴らしいのですが、敷居は高いです。



古関裕而

高校野球の大会歌や数多くの応援歌を作曲し野球への貢献度が大きいことより、福島では古関裕而の野球殿堂入りを申請されており実現する事を願っております。

ラジオ視聴は想像力を増長させる事より、脳の老化防止にも役立つとの事、バランスよく組み入れたいと思っています。

何を食べても美味しい私ですが、今まで一番美味しかった食べ物、北アルプス薬師小屋で食べたアザミの葉のでんぶらです。パソコンクラブでは、年賀状を電子メールで交換しています。日々「立つ（８時間）・歩く（一万歩）・打つ（囲碁・パソコン）・聴く・書く等」で、いつの日か山頂でおいしい物をいただき、ご来迎を写真に収め、年賀状を飾りたいと思っております。

会員番号 四五六五 斎藤 誠



退職してから十年間は病院で営繕の仕事をしていました。歳とともに体が重くなるのと外出や人と会うことすらおっくうになりがちです。また動かずにいると骨、筋肉、関節など運動機能低下や障害につながり転倒を呼び込む危険もあります。これらも予防するには、全ての関節を一日一回痛みのない程度にまんべんなく動かす様にしています。これからも楽しんで歳を重ねたいと思っています。

会員番号 四六九四 田原 雄一



一九七四年五月。大阪本社で一か月の研修後、矢板工場勤務となりました。すでに結婚していたので社宅に入居。千葉県蘇我では家賃二万五千円のアパート暮らしでしたから、その家賃の安さに驚きました。

入社前は所長と所員一名（私）だけの小さな個人の特許事務所を転々としていましたから、上司や同僚や大勢の人が働く会社、という処は何もかもが初体験。まるで童宮城に行った浦島太郎状態。毎日が新鮮でした。仲間が出来たのも嬉しくて、定時で退社しては、毎日のように飲み歩いたものです。「自分勝手に短気、組織に不向き。三年もつかどうか」という友人の予想を裏切つて、何と、しつかり定年迄会社に居られたのは、周りの人達の寛容と忍耐のおかげと感謝しています。さて、最近になって、仕事とゴルフ以外何の楽しみも

ない事に気付きました。何か一つや二つは趣味といえるものがほしいなあと。野球／テニス・・・足がもつれる、もう無理。マージャン・・・今更。農作業・・・興味無し。絵心・・・全く無し。俳句・・・気恥づかしい。城巡り・・・やたら階段を登らされる。

先日、七十才の誕生日を仕事仲間が祝ってくれて、プレゼントはエプロン。そうだ、料理だ！と思いましたが、牛スジの煮込みは絶品とほめられている。モツ煮も上手くできる。《いやな臭いだと苦情をいわれるのが難点だが》私の好きなギトギト系でしかも見た目が良く、旨いものを作ること、これを私のこれからの楽しみの一つにしようと思っております。

会員番号 四三二一 小坂 正美



この度、社友会より古希のお祝いを頂き有難うございました。定年退職して十年が経過しましたが、その後も健康に恵まれて元気に過ごす事が出来、感謝の日々を送っています。私は体を動かすのが好きなので、退職後も好きな野球やゴルフを続けていて、野球では、矢板で活動している「やいたシニアチーム」の仲間に入り、週末は練習や試合にとチーム仲間と投げて、打って、走ってと汗を流しています。三十年度は十月現在までに三十九試合を消化し、二十三勝十六敗の戦績です。昨年からは、試合では還暦の部から古希の部に移行して頑張っています。

平日には好きなゴルフで社友会の皆様とプレイして楽しませて頂いています。これからは健康が続く限り好きなスポーツを続けながら過ごして行きたいと思っております。



打者が筆者

幹事コーナー

「三班幹事を担当して」

第三班 村田 孝



宇都宮西北部(第三班)の幹事を引受けてから早一年半が経ちましたが、幹事としての活動はお恥ずかしいながら、毎月の幹事会に出席すること、班員に何か

異変がないか気を配ることくらいです。

三班地区の実態は①新規退職者はいるようですが、社友会に入ろうとしない。②既入会者も社友会行事や同好会に参加する人は極少数でしかないことです。

でも、宇都宮市内で地域サークルに参画し、いろんな活動をして、結構老後を楽しんでいます。東京や県・市の美術展で入賞している人、全国的なコンクールで大賞を獲得した陶芸家、楽器演奏でボランティア活動をしている人とか種々様々です。新しい人との交流が生まれるので楽しい様です。

という私も、国際交流協会やボランティア活動をしたり、週一度ですが油絵同好会や英会話クラブに入って趣味を広げています。

栃木工場が閉鎖され事業本部としての入会者がいなくなってしまうことを考えると、万感の思いもあります。少なくともシャープで働いたことの誇りをなくさず生き抜きたいと思えます。

「七班幹事を担当して」

第七班 鈴木 光典



矢板市の木幡地区七班の幹事を仰せつかっています。私の班は二十六名の大所帯です。資料をお届けするの最初は二時間半程度かかりましたが、今では少し慣れてきて一時間二十分程度で資料のお届けができるようになりました。木幡に住み着いてから既に四十五年程たち、地域の道や施設など詳細に分かっていきましたがやつとわかって参りました。

班内には木幡神社という由緒ある県内最古の神殿建築の重要な文化財(七九五年坂上田村麻呂の勧請による)があります。神社の祭りは一月のどんど焼き、春季例大祭(神楽)、十月の百物揃武者行列渡御などがあり、沢山の方が訪れます。本堂西側の庇近くに和算の問題の額が掛けてあります。頭の体操に是非その難問(?)に挑戦してみてくださいは如何でしょうか。

ここ数年の間に社友会に御入会された第七班の五名の方は、一〇〇歳を超えてからの幹事となります。今から体を鍛えていただき幹事のバトンをしっかり受け取っていただきたくお願い申し上げます。



木幡神社拝殿



木幡神社の和算扁額

「十一班幹事と私の近況」

第十一班 細小路 光夫



私が担当している十一班は矢板市の足銀十字路口周辺から北側の矢板中央高、矢板中学校付近の地域です。私には会報で紹介できる題材がなく原稿の内容に悩みましたが、元気なうちにと続けていることがあります。

一つ目は山登りです。社友会の「歩こう会」に入会し、年に四〜五回のトレッキングに参加しています。高齢者でも登り易く、眺めがよく、花がきれい、紅葉がきれいな山を探して計画を立てていただいているので会長には感謝しています。最近女性メンバーも増えて、私の参加率も一層高くなっています。

二つ目はボウリングです。十二年前に大腸がんの手術をしたので、かなり体重、体力が落ちた為リハビリを兼ねて二十歳の頃ブームで夢中になったボウリングを再度投げ始めて週一〜二回通っています。また、社友会のボウリング同好会にも入会し、月一回の大会を楽しみにしています。

三つ目は鮎釣り(友釣り)です。元同僚や自治会の仲間と那珂川や鬼怒川に出かけています。鮎が掛かったとき、あのググツとした感触がたまらず、暑さ、疲れを我慢して、つい連日出かけてしまう時もあります。昼食時には仲間と釣り談義を熱く語りながら飲むビールの味は最高!

四つ目は手打ちそば作りです。習い始めて四年経ちますが月二回の講習日以外は何もしていません。講習日以外なかなかうまく打てませんでした。その後、講習日以外

にも打つ回数を増やして最近になり、ようやく茹でてもある程度の長さまでになり、やつと知人や釣り仲間にも食べてもらえるようになりました。

五つ目は手話です。講習の授業代が無料で、会場が自宅から歩いて三分と近かったこともあり、週一回二時間の講習を受けています。家族からは「いいね」をもらえるものと期待していましたが、その逆で「その歳になつて習つてどうするの」と冷やかな反応にはショックでした。現在、日常会話ができる三級検定取得を目指して頑張っている所です。

最後になりますが会報は会員の状況や趣味など色々な情報が満載であり、いつも制作スタッフに感謝しながら読ませて頂いております。

「あれから十年・これから十年」

第十五班 矢板 利一



定年退職してから早くもあと一年半で十年を迎え様としていきます。退職前、定年後の目標に向けたモノ作りを五年かけ準備してきた木工模型の五重塔を四年かけ完成する事が出来ました。

モノ作り意欲が増してこれまでに、五重塔(八基)、祠(二基)、神棚(十基)、ねぶた等々、忙しい毎日を送っています。又、六十歳代は七十歳を生きたため今までに準備してきたもので実現させる十年にしていきたいと思っています。

これまでに、地域の人々との繋がりの中で生活していかねければならない事から退職後は地区の役員(公民館長)を八年務めたり、市の創年大学では地域活性化を学んで来ました。その他に、各講座やイベントの協

力・支援などで知り合いが広範囲に増えてきました。

また、体力の維持や集中力の低下防止の為、太極拳やウォーキング、トレッキング、ボランテニアでの作業等、その他、写経、八十八ヶ所巡礼で次の十年に備えているところですが、これらをベースに七十歳代になったら地区の活性化の活動に関わり参画していきたい、次の十年を新たな目標として挑戦して取り組んでいきたいと思っております。

「十九班の幹事になって」

第十九班 白川 寿



十九班は那須塩原市の中央部を横切る国道四号線を境に那須連山側に位置し会員数は十七名で西那須野地域に十六名黒磯地域に一名の方々が住まわれております。日本最大規模の扇状地『那須野が原』のほぼ中央部に位置し、明治から昭和にかけて要職を歴任した貴族達が開拓した大規模農場が数多く点在しており、私の家の近所にも『本松農場』があります。農場の一角には栃木県のゴルフ場のランキングでも常にトップ5入りしている西那須野&ホウライカントリー倶楽部の2コースが隣接し、どちらも素晴らしいコースがあります。

毎年、抗酸化作用による生活習慣病の予防食品と知られる『黒にんにく』を炊飯器の保温機能を使って作り知人にも時には譲ったりしては喜んで食べて貰っています。



自家製の黒にんにく

又、友人との旅行&ゴルフで撮った写真や動画を一つの作品にしてDVDに焼き、友人に贈ると良かったよと言ってくれるのを自分の楽しみとボケ防止に役立てています。



自作のDVD作品

昨年春頃より家内が体調を崩し病氣療養中なので、家事の大半をしておりますが、最善の看病を自分なりに言いきかせている昨今です。

新入会員紹介

平成三十年四月一日〜九月末 入会者

会員番号 六六五六 服部 哲也



昨年三月に定年退職し、社友会に入会させて頂きました。経営環境が厳しい中でなんとか定年を迎えられたことに感謝しています。これからは健康に留意しながらいろいろなことにチャレンジしたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

会員番号 六六六一一魚 護司



今回、社友会に入会させて頂くことになりました。一九八一年入社、矢板で始まり矢板で昨年五月に無事、定年退職を迎えられたことに感謝しております。二〇一八年は諸先輩がゼロから築き上げた矢板工場五十周年の記念すべき年でもあります。この年に工場が終息するのは本当に寂しい思いがしています。将来へ向けた新生シャープのAV事業の更なる飛躍に期待しております。

小職の趣味はアマチュア無線・中国語・中華カラオケ・ゴルフ・エレキギター等々、健康維持のために毎日のウォーキングは続けるようにしています。社友会の大先輩の皆様、今後共どうかご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

会員番号 六六七四 岡山 尚



アメリカ / カリフォルニア州
サンディエゴのコ罗纳ドホテルにて

昨年七月末に定年退職し、入会させて頂きました。入社以来栃木関連の業務に携りましたが、半分以上が海外勤務でしたので、まずは日本の生活を楽しんでいきます。

今後は経験を活かした社会貢献ができれば、と考えています。宜しくお願い申し上げます。

一般投稿コーナー

「マレーシア駐在時の思い出」

会員番号 二三七七 中山 弘一



マレーシアで海外生活を始めたころを思い出し、振り返ってみました。一九九五年十一月、成田をたつて六時間半のフライトで首都クアラルンプールに到着しました。スパン空港でした。独特な臭いと、湿った熱気を感じると同時に、いよいよマレーシアでの生活が始まるというワクワク感のようなものがあつた記憶があります。

マレーシアはイギリスの支配下時代に、ゴム園の労働者として中国人やインド人が、錫鉱山の労働者として更に多くの中国人が連れてこられ、その後、多民族国家として独立し、二〇一八年推計(朝日新聞調査)では、マレー人69%、中国系23%、インド系7%、その他1%となつていられるらしいです。その構成は当時とほぼ同じで、それぞれの民族生活習慣を一つの国で経験出来たことはラッキーでした。マレー人はアルコールを飲まない、豚は汚いから食べない、インド人は聖なる牛を食する事ができない、等々であるが、日本人にとって中華料理は最高でした。レストランにする、屋台でさえ旨い料理にありつけました。メニューがなかったり、読めなかったりする為、自腹で中国人の友を連れていったものです。また、シャアラムにはイスラム教の寺院「ブルーモスク」があり観光名所になっています。

赴任当初、困つたのは足でした。通勤にしろ、何処へ行くにも自動車が必要でした。雨期になると滝のようなスコールで10分先が見えませぬ。

又、バイクが多く、車の右から左から接近され、危険を感じるほど難度の高いラウンドアバウト(環状交差点)でした。



クアラルンプール市内の交通状況

1/4周し左折、2/4周で直進、3/4周で右折ですが、これがなかなか難しい。渋滞時には交差点内が三重にも四重にもなり、強引さと譲り合いの阿吽の呼吸が必要となつてきます。それもすぐに慣れ、六年半後の帰国時まで辛い一年中暑い季節感のないところで生活していると時間の過ぎるのが早く、まさに「光陰矢のごとし」であつたという間のマレーシア生活でした。



シャアラムにあるブルーモスク(イスラム教の寺院)



ブルーモスクの外観と内部

パソコンクラブ

Personal Computer club

Established in 2001

2018年7月～12月の主な活動内容

- ◆支部ホームページ“会議室”活用の推進
 - ・会員間の情報共有と、迅速で適切な意見交換ができるよう改善を加え、活用の促進を図った
- ◆定例会、勉強会の内容
 - ・HP、会報のクラブ紹介ページの編集作業
 - ・パソコンのメンテナンスとウイルス対策
 - ・スマートフォンについての学習
 - ・AI/バーチャルリアリティについて紹介
 - ・写真合成技術の習得
 - ・ハイパーリンクの活用 等

PCの知識と技量を深める場として毎月定例会と勉強会を行っています。最近は、パソコンに加えてスマホなどデジタル機器の話題も扱っています。

定例会
毎月
第1水曜日
午前10時～12時

勉強会
毎月
第3水曜日
午前10時～12時

会員募集中

入会案内

年会費 2,000円
(新規入会者初年度のみ会費免除)
初心者大歓迎!

問い合わせ先

会長 佐藤壽行 ☎ 0287-44-3377
事務局 永橋 肇 ☎ 0287-43-5199

※定例会、勉強会の見学は大歓迎です。



背景:本栖湖より富士山を望む
(千円札裏面デザインの基となった風景)

《会員紹介》 写真左より



勉強会の一コマ (2018.12撮影)

1	津田 功 会計
2	磯島和美
3	永橋 肇 事務局
4	佐藤龍雄 副会長
5	安東郁哉 副会長
6	高萩紘二
7	廣田哲男
8	青木正和
9	古市正昭 副会長
10	佐藤壽行 会長

その他の会員

浦川 正司

徳田 浩

平山 勝

福本 英之

山崎 一義

(総会員数15名)

ゴルフ同好会



◇ 活動状況

今年度の活動も当初計画通り、11月までに4回開催できました。毎回50名前後の参加で、和気あいあいの中でも、熾烈な争いを繰り広げ楽しく活発に活動しています。同好会では、新人からベテランまで会員相互の親睦と健康増進を目指し、楽しいゴルフの推進を図って参ります。

定例コンペ	第113回	第114回	第115回
開催日	7月9日(月)	9月12日(金)	11月13日(火)
開催コース	矢板CC	喜連川GC	千成GC
参加人数	51名	43名	46名
優勝	星野幹夫(60)	法田嘉明(64)	辻 勉(65)
準優勝	藤川皓司(61)	福田貞男(68)	成瀬常明(66)
3位	木島忠男(63)	山口重一(69)	海瀬元之(69)
4位	小阪正美(65)	小阪正美(70)	後藤講栄(69)
5位	岩村 博(65)	横田慎二(70)	清水政明(70)
ベストグロス (コース毎)	河越泰博(75) 徳田義文(75)	生嶋良幸(80) 河越泰博(82)	清水政明(75)

◇ 今後の定例コンペ日程

コンペ	予定日	備考
第116回	19年3月	喜連川
第117回	19年5月	別途案内



成瀬氏 辻氏 海瀬氏

第115回コンペ入賞者



第115回千成コンペ参加の皆様

《新会員募集》

- * 入会金 : 無料
- * 年会費 : 無料
- * 定例コンペ : 年間5回実施 5月、7月、9月、11月、3月
- * 連絡先 : 幹事 今泉正男 ☎ 0287-44-1073
- :eメール m_jed_imaizumi@yahoo.co.jp

歩こう会

◇ 歩こう会のご案内

- ☆県内、又は近県の山、溪谷、湿原などの景勝地へのトレッキングを行っています
- ☆定例会として、難易度が初心者向き、一般向きのコースで年6～7回実施、歩行時間は4時間程度
- ☆有志例会としては、定例会で訪れるコース開拓と、会員の登山レベル向上を目指し、日本百名山等の本格的な高山登山や夏山での合宿登山を適時実施しています



木曾駒ヶ岳の
宝剣岳山頂

◇ 活動状況

- ・定例会：那須 姥ヶ平 (10/2 17名参加)
- ・有志会：山梨県 金峰山 (9/19 10名参加)



◇ 30年度 定例会 年間計画

定例会	実施月日	行先	概要・ポイント
第117回	H30年 4月21日(土)	栃木県那須塩原市 安戸山	昭和天皇も登られた山
第118回	6月12日(火)	栃木県日光市 高山	千手ヶ浜のクリンソウ
第119回	8月24日(金) ～8月25日(土)	山形県 庄内町 月山 (二日目は山寺など観光旅行)	残雪と高山植物を楽しむ 日本百名山
第120回	10月 2日(水)	栃木県 那須町 那須・姥ヶ平	那須の紅葉を楽しむ
第121回	11月12日(月)	群馬県 南牧村 黒滝山	細尾根・梯子の難所あり
第122回	H31年 1月21日(月)	茨城県 高萩市 土岳	初詣登山と食事会
第123回	3月26日(火)	栃木県 茂木町 焼森山	ミツマタ群生地を散策

◇ 30年度 有志例会の主な足跡 (1～12月)

- ・武甲山、鎌倉岳、鳴神山、鼻曲山、早池峰山、木曾駒ヶ岳、金峰山、栗駒山など、延11回実施

◇運営 組織：[顧問] 松本 隆 [会長] 荒田 英治 [副会長] 矢板 利一 [会計] 前川 健治
[会計監査] 赤塚 忠明 [幹事] 玉木 光一、滝田 勝美、梅原 弘二

- ◇会員の募集：歩こう会役員まで連絡ください。年会費2,000円(10月以降の入会は1,000円)
- ◇現状会員数：平成30年12月現在 登録会員数 29名(家族会員含まず)

●連絡先 荒田 英治 TEL 0287-37-3298 / 090-1121-1522
e-mail : earata@olive.ocn.ne.jp

カメラクラブ

《新会員募集》 撮影会、講評会 体験参加者募集

・連絡先 幹事：大屋信幸

TEL: 0287-43-5806 e-mail: n0y8a@eagle.ocn.ne.jp



◇ 活動状況

- ・8月8日(水)撮影会：猛暑と大型台風接近のため撮影会を中止しました。
- ・10月17日(水)合同撮影会：南会津観音沼森林公園、大沼郡昭和沼矢野原湿原、にて実施。紅葉は10月15日(月)秋の憩親バス旅行同様、紅葉は始まったばかりでした。※自分だけの表現を考えた撮影を心掛けました。

◇ 写真コンテスト入選・入賞作品紹介：栃木支部ホームページにも掲載しています。

- ・50周年記念 栃木県朝日フォトグランプリ：4点入選、2点入賞。

・栃木県朝日フォトグランプリ
優秀賞：『遅く生きる』只友将弘



・栃木県朝日フォトグランプリ
入選：『瞬彩』志賀 実



・フジカラープロフォトコンテスト
優秀賞：『栄華の夢』只友将弘



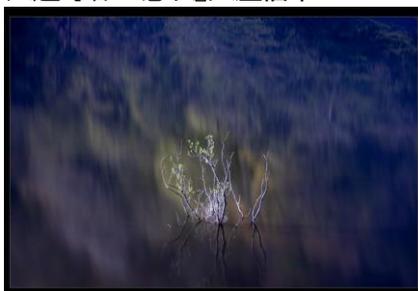
・第27回自然の緑写真コンテスト
優秀賞：『朝日射す』田代宏明



・栃木県朝日フォトグランプリ
優秀賞：『やぐら火矢』田代宏明



・栃木県朝日フォトグランプリ
入選：『春の息吹』大屋信幸



・月刊CAPA 8月号
入選：『悠久の悲しみ』貝増弘行



◆ その他の写真コンテスト入選・入賞作品

- ・月刊CAPA 9月号 風景の部 入選『走りくる夕日』志賀実
- ・月刊CAPA 11月号 風景の部 入選『幻の神殿』志賀実
- ・月刊CAPA 11月号 風景の部 入選『スイートルーム』大屋信幸

◇ 平成30年度活動計画

- ・定例会は13時～15時、城の湯ふれあい館、及び 片岡公民館で実施
- H31年1月13日(日) 新年合同講評会(矢板フォトクラブ、片岡写真教室)：特別講師を予定
- 2月13日(水) 撮影会：冬景色撮影。塩谷町、東古屋湖を予定
- 3月13日(水) 定例会：基礎研修、各自作品の講評

◇ カメラクラブ員紹介 (10名)：只友将弘、志賀 実、田代宏明、田中 勇、後藤謙輔、廣島好美、山口重一、貝増弘行、荒田英治、大屋信幸(幹事)

《 新会員募集 》 ◆ 会員数：10名 ◆ 年会費：3000円(中途入会 無料) ◆ 体験参加可能
◆ 連絡先：[幹事] 大屋信幸 TEL：0287-43-5806 e-mail：n0y8a@eagle.ocn.ne.jp



カラオケ同好会



< 入会申込・問合せ先 >

会長：福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局：青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪新規会員募集中♪♪

世の中、益々高齢化が進む中、矢板市も十年後は人口が減少し、社友会も存続の危機に面していますが、昭和演歌は不滅です。日本は健康寿命が世界一。各地で行われているサロンに参加、ボランティア活動等で地域と繋がりのある人は、認知症リスクが半減すると云う調査結果が出ています。落語の中に「カラオケ病院」と云う落語があり、患者が健康保険で歌い乍ら病気を治すと云う話もあります。老後は楽しく歌って暮らせるのが一番！一年一年を積み重ねる事は簡単ではありませんが、一歩ずつ前へ進む為、皆様の参加、入会を心から願っています。入会金、年会費は無料です。



11月13日 カラオケ定例会参加者

♪♪ 定例会活動状況 ♪♪				
実施日	実施場所	参加者	トップ賞	曲名
7 / 10 (火)	BanBan	8名	津田	湯島の白梅
8 / 7 (火)	BanBan	6名	福永	与作
9 / 11 (火)	BanBan	8名	安藤	雪に散る
10 / 9 (火)	BanBan	7名	津田	祝い船
11 / 13 (火)	BanBan	8名	津田	別れの一本杉
11/30 ~ 12/1	ニューさくら	10名		
12 / 11 (火)	BanBan	7名	磯島	いごっそ魂



11月13日 BanBan での定例会の様子

定例会で熱唱中の会員



11月30日 合同忘年会参加の皆様

♪♪ カラオケ好きの皆さまへ ♪♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか！
まだ、満点が出た事は、ありません。

『 30年度の最高得点 』



94点 / 100点満点

< 同好会会員 >

福永勝行	青木正和	城本 昭	古市正昭	村上五十六	島田次秀	三堂地時臣	手島正典	津田 功
安藤八郎	佐藤壽行	磯島和美	岩谷秀勝	津久井秀一	郡司忠一	徳田 浩	浦川正司	細川美生
福本英之	小倉麗子	古市和子	泉口トシエ	笹原幸子	大島栄理子	村上サダ子		《計》25名

グラウンド・ゴルフ同好会

●2018 年末の会員総数 55 名

内訳: ■社友会々員 15 名 ■シャープ OB 会員及び家族会員 9 名 ■一般地域会員 31 名

◆競技中のスナップ写真

(シャープ関係会員の一部: 敬称略)



福本



後藤



道畑



中嶋



徳田



原田



増田



星野



中村



小林



大町



石塚



関谷



柏原



道畑



阿部



鈴木

●2018 年の活動状況

[前回の会報掲載以降の大会]

大会名	第24回定例大会	第25回定例大会	G. ゴルフ感謝大会	第11回記念大会
開催日	H30年8月20日(月)	H30年9月24日(月)	H30年11月16日(金)	H30年12月17日(月)
参加者数	35名(男22、女13)	30名(男20、女10)	31名(男20、女11)	34名(男21、女13)
優勝	斎藤 敬一 (0) 71	近藤 靖浩 (+2) 72	須藤 利夫 (0) 67	古河原 弘 (0) 69
	柏原 喜美代 (+1) 82	阿部 涼津子 (+2) 82	櫻井 義子 (0) 69	渡辺 玲子 (3) 78
準優勝	藤原 勇 (0) 75	加藤 康雄 (0) 74	和田 堅治 (0) 76	加藤 康雄 (2) 74
	櫻井 義子 (0) 82	江連 あけみ (+2) 84	江連 あけみ (0) 79	吉澤 満子 (3) 79
第3位	石塚 忠 (0) 80	吉澤 実 (+3) 76	吉澤 実 (0) 76	原田 博美 (0) 74
	関谷 スミ子 (0) 85	吉澤 満子 (+1) 86	阿部 涼津子 (0) 81	秋山 文子 (0) 84
競技方法	32ホールストロークプレイ(8ホール×4ラウンド)NETトータル、()内の数値は付加ハンディキャップ			

[平成30年度

練習と競技大会
の予定表]

2019 1月							2019 2月							2019 3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30
														31						

■ : 練習日 (月、水、金又は月、火、金)

■ : 競技大会

グラウンドゴルフはルールも簡単、特別な技術も不要の生涯スポーツです。新規会員募集中!

年会費: 1200円 入会金: 0円

入会申込先: 後藤謙輔 TEL: 0287-37-0368



健康麻雀同好会



健康的な麻雀を通じ、頭脳と指先の活性化により老化予防と会員相互の親睦を図る場としてゲーム感覚で和やかな競技を楽しむことをモットーに同好会を発足してから丸3年が経ち、会員数も17名に増え、最近では毎回4卓を囲んで盛況な戦いを繰り広げております。また、麻雀設備も徐々に充実されてきました。競技会は毎月1回、第3金曜日に実施しております。健康麻雀に興味のある方は事務局にご連絡ください。

◇活動状況

2018年7月～12月の月度競技会の各トップ3の会員名とその成績は以下の通りです。

定例 競技会	第 30 回	第 31 回	第 32 回	第 33 回	第 34 回	第 35 回
開 催 日	7 月 20 日	8 月 17 日	9 月 21 日	10 月 19 日	11 月 16 日	12 月 21 日
開 催 場 所	ハッピーハイランド矢板行政区公民館(通称;ハッピー会館)					
参 加 人 数	13 名	12 名	16 名	17 名	16 名	16 名
< 総合順位 > ()内数字 ; 獲得点数 *マーク付き名称者は客員						
第 1 位	岩村 (771)	佐藤 (641)	三堂地(415)	福田 (484)	岩村 (811)	浦川 (664)
第 2 位	佐藤 (301)	新屋*(426)	青木 (371)	山口 (279)	川村 (283)	福田 (415)
第 3 位	青木 (171)	佐藤*(254)	川村 (361)	佐藤 (248)	浦川 (259)	三堂地(291)

【2018年度総合順位】中間成績報告

2018年度の「4月～12月」9ヶ月の得点合計の中間成績順位トップ3は次の通りです。

第1位 岩村さん(3070) 第2位 福田さん(1829) 第3位 川村さん(1377)

現時点では、1位の岩村さんが大差でリードしています。

残り3回、他の会員の奮起に期待しましょう！！

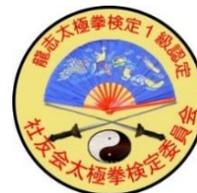


12月21日 対戦前に記念撮影！

《新会員募集中》

- * 入会金 : 1,000 円 * 年会費 : 1,200 円 【毎回の場所使用料 : 100 円～300 円/人】
- * 定例会 : 毎月1回(第3金曜日)、場所:ハッピー会館(ハッピーハイランド矢板自治公民館) ほか
- * 連絡先 : 事務局 佐藤龍雄 ☎:0287-43-0425 eメール ;sato-t8@kjc.biglobe.ne.jp

太極拳同好会



認定バッジ

◆ 活動状況

平成28年1月に発足した当同好会は、今年1月で4年目になりました。現在では練習内容も初級段階から本格的な規定揚式太極拳40式や太極扇まで、会員のレベルに合わせ幅広く練習出来るように活動しています。また、大田原市においては太極拳も健康維持、ロコモティブ改善に効果があると認められ健康ポイントの付与対象になり、市の事業として健康太極拳講座が7月に6回開催され、当同好会からも参画しました。9月には那須「森のビール園」での太極拳披露に数名の当同好会会員が参画し、日ごろ練習した太極拳を多くの方々に観て楽しんで頂ける体験をしました。さらに10月に行われた大田原市の野崎地区文化祭や西地区文化祭でも演武発表を行う等、大田原市の地域貢献活動に何度か参画しました。今年度は矢板市民にも貢献活動の輪を広げ、太極拳の楽しさやアンチエイジングの効果を高齢者の方々への普及活動を行っていく予定です。

●体を支える力 ●足を上げる力 ●体のバランスを保つ力
呼吸法で自律神経を整え、ストレスを解消してアンチエイジング

◆ 練習会内容 / 講習資格認定

- ・原則的に練習は月曜日(野崎地区で)及び金曜日(西地区で)に実施しており、週2回練習が可能。
- ・練習会では呼吸法の18練功、八段功の準備運動後、太極拳、太極扇、太極剣を練習。
- ・老化予防、怪我防止を目的に、ヨガに似た真向法を実施して身体の柔軟性を鍛える。
- ・後輩、一般人への指導が可能な「入門・初級演武認定試験」を受検でき、講習資格取得が可能。

社友会会員名簿					
廣田 哲男	才津 宣義	山本東洋治	青木 正和	齊藤 順一	黒川 健一
矢板 利一	鈴木 光典	増田 武司	佐藤 龍雄	辻 勉	津田 功



野崎研修センターでの太極扇練習風景



練習後、那須野ヶ原ファームでの食事会参加者



協力:龍志なでしこ会

講師:廣田 哲男

☎ 070-4315-5330

【入会申込・問合せ先】

会 長 : 山本 東洋治

会 計 : 齊藤 順一

事務局 : 才津 宣義

(TEL) 0287 - 29 -1567

【入会案内】

- ・練習場所 : 大田原市野崎研修センター
- ・練習日時 : 原則的に毎週月曜日午前10時~12時
- ・服 装 : ジャージ等、動きやすいものを着用する
- ・履 物 : 室内用シューズ(個人で持参)を使用する
- ・会 費 : 1000円/月
- ・入会方法 : 入会希望者は事務局へ電話して下さい

★ 新規会員募集中!!

ボウリング同好会

H30年12月現在、会員数28名(会員20名、客員8名)、親睦と健康増進を目的に活発に活動しています。気軽にできるスポーツですので、社友会会員の皆様、入会して楽しんでみませんか！！

< 活動状況 / 競技結果 >

定例会は毎月1回、原則として第4木曜日午前10時より王冠ボウル(大田原)にて競技会を開催しています。

定例会	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
実施日	6/28(木)	7/26(木)	8/23(木)	9/27(木)	10/25(木)	11/22(木)
優勝	矢板 (35)	毛川 (30)	細小路 (-30)	青木 (10)	福田 (5)	矢板 (10)
準優勝	佐藤 (-10)	山本 (30)	磯島 (5)	日置 (25)	矢板 (5)	山口 (5)
3位	豊田 (5)	青木 (20)	山口 (15)	野中 (-5)	小林 (-5)	毛川 (35)
参加人数	17	14	13	11	19	19

()内の数字はハンディキャップ

< 競技方法 >

3ゲーム総合得点によるハンデ戦。第3回定例会より1位～3位および特定順位の方に賞品を贈呈しています。1位、2位、3位は、-30、-20、-10のハンデを次回以降累積することとし、参加者全員に、できるだけ公平に賞品が渡る様に配慮しています。ハンデ累積は12月迄とし、翌年1月に前年のハンデなし成績を基準として再設定します。第13回定例会(1月)にハンデをリセットしました。また、本年度より1位の方にボウリングシューズを贈呈しています。



第23回定例会参加者



矢板会員



毛川会員



細小路会員



青木会員



福田会長



矢板会員

6月～11月 優勝者

新会員募集中！！

入会金 / 年会費 : 無料 定例会参加費 : 1000円 (ゲーム代・貸靴代)

連絡先 : 【事務局】 千葉 守 ☎ : 090-4618-4141

E-mail : zweimapril@kra.biglobe.ne.jp

秋季懇親バス旅行

10月15日(月)、会員およびご家族を含む34名の参加により、秋レクリエーション、福島・裏磐梯方面のバス旅行を実施しました。当初予定の吾妻スカイラインは吾妻山の噴火警戒レベル引上げにより通行止めとなり、ここを迂回する行程に変更となりました。

若干霧のある曇り空の中、最初の目的地のリンゴ園に到着し、食べごろの陽光や王林の味を満喫し、直売所に移動してラ・フランスやにっこり(梨)の試食も楽しみました。今回は栃木支部30周年として特別に千円相当のリンゴの土産も会員に持ち帰ってもらいました。

裏磐梯に着いた頃には磐梯山山頂も見えるまでに雲底も上がり、五色沼では毘沙門沼を背景に集合写真を撮った後、希望者は紅葉しつつある遊歩道を散策しました。その後、小腹のすいた所で桧原湖畔のドライブインでわかさぎの天ぷらや郷土料理の入った昼食を味わいました。食後は会員それぞれ湖畔を散歩したり土産を買い求めたりして過ごした後、帰路につきました。今回のバス旅行には会員以外にご家族も6名参加いただき、和やかな中、会員相互の親睦を深める機会となりました。



陽光や王林の味を満喫後、姫リンゴ狩り



何個収穫？



陽光のリンゴ狩り



桧原湖畔のドライブインで昼食



桧原湖畔を散策



五色沼の毘沙門沼で記念撮影



栃木工場 お別れ工場見学会 !!

新聞等で既報の通り、昨年末にTVシステム事業本部栃木工場でのTV生産は終了しました。これに伴い栃木工場の約70%の従業員は幕張・堺などへ転出されました。生産終了に先立ち、昨年11月末に会社総務部より「社友会OB、OGの皆様を対象にした思い出多い栃木工場の見学は如何ですか?」との提案があり、ご厚意に沿い昨年12月6日(木)と12月7日(金)の2日間、午後2時からテレビ工場と技術センター棟を1時間程見学させて頂きました。

今回の見学会は会社提案から見学会実施迄の期間が短かった為、社友会会員への連絡は、①メール連絡が出来る会員 ②社友会栃木支部HPを閲覧できる環境のある会員 ③友人などへの口頭連絡 等に限られましたが、2日間で計約90名と多くの方に参加して頂きました。見学会当日は会社側が準備した技術センター集会室に集合し、鳥井 上席参事、及び、荒田支部長の挨拶の後、参加者は2班構成で見学ガイド役の社員説明に従い、テレビ生産工場内部と技術センター内部を見学させて頂きました。参加者の中には、現役時代の姿を思い出した人や、退職後の大きな変化に感慨深く感じた人も居たのではないのでしょうか。今回の見学会で、この工場も見納めとなりましたが、シャープ栃木事業所が存続する限り、社友会栃木支部は同じ敷地内で活動を続けて行く予定です。

今後もシャープ(株)が増々発展されるよう社友会栃木支部OB、OG共々応援しております。



社会貢献活動(CSR)

◆「矢板市・自然観察ふれあい公園」下草刈り活動参加

8月11日(土)午前7時から「自然観察ふれあい公園」(川崎城跡公園)の下草刈り活動に参加しました。当日は早朝まで雨が降っていましたが、午前7時には雨も止み草刈りが出来る様になり、総勢約20名で広い河川敷をきれいに刈込みました。社友会からは4名(写真左から荒田支部長、矢板氏、海瀬氏、後藤事務局長)が参加しました。



◆ 社会貢献活動「矢板市あんどん祭り」支援活動に参加

〈準備〉8月23日(木)午後3時～、〈祭当日〉8月25日(土)午後3時～、
 〈後片付け〉8月26日(日)午前7時～、あんどん祭りの支援活動が「川崎城跡公園自然観察ふれあい公園」で行われました。後片付けには矢板中央高校のサッカー部員約70名が参加してくれた為、予定より早く後片付けが終了しました。社友会からは準備と後片付けに各3名(矢板氏、海瀬氏、後藤事務局長)が参加しました。



◆ SGC活動 栃木事業所内草刈り(技術センター周辺)に参加

9月8日(土)午前8時30分～11時30分 SGC活動「栃木事業所内草刈り」が実施されました。当日は曇り空で草刈りには適した天候でしたが、当日の参加者は十数名と少なく技術センター周辺のみでの草刈りとなりました。社友会栃木支部からは3名(右写真左から、後藤事務局長、荒田支部長、矢板氏)が参加しました。尚、社友会会員は社員と比べて高齢でもあるため、草刈り終了時刻の30分前に切り上げさせて頂きました。



◆ SGC活動「矢板市花火大会」開催後の会場周辺清掃活動に参加

10月14日(日)午前8時から、前日に行われた花火大会の打ち上げ場所周辺の清掃活動を行いました。各ボランティア団体のほか、中学生、高校生も大勢集まり、社友会栃木支部からは3名(写真左から海瀬会員、増田顧問、後藤事務局長)が参加しました。参加された皆様のご協力により、会場周辺は大変きれいになりました。



◆ 川崎城跡公園の下草刈り活動に参加

10月20日(土)午前8時から川崎城跡公園の下草刈り活動が実施されました。残念ながら当日の参加者が少なかった為、公園全体の草刈りはできませんでしたが、高速道路側の公園は大変きれいになりました。社友会栃木支部からは3名(写真左から山口事務局次長、後藤事務局長、荒田支部長)が参加しました。



【編集後記】

今号は栃木事業所の生産終了関連記事が出稿間際に追加となり、最後になって割付編集に一苦労しました。何とか全員を纏める事が出来、ほっとしている所です。会報作成にあたり協力して頂いた皆様には予定日に発行出来た事、感謝致します。

編集長・青木正和

【表紙説明】

青空と木立の黒に黄色い蠟梅をちりばめました。

蠟梅(ロウバイ)の名前の由来

- ・花びらが蠟細工みたいな質感で梅に似た花が咲く
- ・陰暦の臘月(旧暦十二月、現在の一月)に咲く花
- ・中国から渡来した際にそのまま漢名の蠟梅を使用

撮影・大屋信幸

長寿 おめでとうございます!!

対象期間 : H30.4.1 ~ H30.9.30

※ 日付は誕生日

		◆ 喜 寿 ◆			
1941	青木 裕二	5/27	2014	平井 靖人	8/4
1958	長友 芳正	6/19	2015	粉川 昌三	8/8
1996	山本 柴司	7/10	2026	只友 将弘	8/26
1991	増田 武司	7/30	2042	前野 雄二	9/8
2013	西岡 愷二	8/4			
		◆ 古 希 ◆			
4149	鈴木 幸雄	4/5	4233	鈴木 実	7/15
4185	荒田 英治	4/13	4239	二上 高志	7/26
4651	前川 健治	4/15	5490	磯田 道雄	7/26
4604	中島 隆志	4/28	4269	櫻井 泰博	8/4
4181	貝塚 恒夫	5/13	6539	佐々木 昭	8/14
5856	田代 清	6/5	4694	田原 雄一	8/22
4231	佐藤 壽行	6/19	4565	斉藤 誠	9/10
4634	前田 英幸	6/19	4311	小坂 正美	9/27